

# 外国語活動学習指導案

江田島市立鹿川小学校

授業者 T1 外国語担当 岩田 晃志

T2 ALT Amy Lewison

- 1 日時 平成30年6月26日(火) 第5校時
- 2 学年 第5学年1組 (男子15名 女子8名 計23名)
- 3 単元名 What do you want? ~アルファベットとなかよし~
- 4 単元について

## (1) 単元観

○ 本単元では、アルファベットの大文字と、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現について扱う。新学習指導要領の移行期間にあたり、本単元は、第4学年新教材の「Let's Try 2」と第5学年旧教材「Hi, Friends! 1」の内容を踏まえて構成する。アルファベットを学習することで、日本語と英語の音やものの言い方の共通点や相違点に気付かせることができ、英語の表現や文化にも慣れ親しむことができる。また、身の回りのものを英語で表現したり、何が欲しいかを尋ねたり答えたりすることで、自分の考えや思いを伝える楽しさや面白さを実感することができる単元である。

## (2) 児童観

○ 本学級の児童に外国語学習に関するアンケートを実施したところ以下のような結果になった。

質問項目	肯定的評価
・外国語活動の授業に進んで参加しています。	100%
・もっと英語を学びたいと思います。	100%
・英語を使う場面を考えながら活動しています。	96%
・相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、だいたいの内容が分かります。	96%
・英語でのやり取りや発表をするときには、自分の考えや気持ちなどを伝えています。	87%
・英語の文字(アルファベット)を読むことができます。	83%

「小学校外国語活動実施状況調査」の児童アンケートの結果を分析すると、15ある項目全てで80%以上の肯定的評価があった。本学級の児童は、本年度から始まった外国語活動の授業に大変意欲的に取り組んでいることが分かる。どの児童も、表情豊かに楽しんで活動している様子が多く見られる。また、英語を使う場面を考えながら活動している児童が96%いることから、外国語を自分の生活との関わりで捉え学習している実態があることが分かった。また、96%の児童が、英語で話されても「何を話しているのか」を大まかに捉えることができていることから、英語の音声を聞いて「類推する」力がついてきていることが分かった。

一方で、「英語でのやり取りや発表をするときには、自分の考えや気持ちなどを伝えています。

(87%)」「英語の文字(アルファベット)を読むことができます。(83%)」では、他の質問項目に比べ、やや否定的な回答が目立った。児童は、英語を類推して聞き取っているが、答え方が分から

なかったり、伝えたい表現が英語で言えなかったりして、自信を持って伝えることができていないのではないかと考えられる。また、これまでの外国語の学習では、アルファベットの文字を明示する機会が少なく、アルファベットの文字認識に課題があることが分かった。

したがって、児童の不安を解消させることが、児童が積極的にコミュニケーションを楽しむことにつながり、英語を聞いたり話したりする言語学習の楽しさを実感することにつながるのではないかと考える。

### (3) 指導観

- 指導に当たっては、児童が外国語を聞いたり話したりすることに対しての不安感や抵抗感を減らし、英語を使ったコミュニケーションの楽しさや面白さを実際に体験することができるように、次の点に留意する。

- ① 初めて出合う英語の音や文字でも、意味が簡単に類推できるように、食べ物など身の回りにあるものを学習教材として取り上げたり、身の回りのものと英語の音声や文字を結びつけることができるように、ものの絵や写真を提示したりする。
- ② 歌を歌ったり、短い会話をしたりしながら、新しく学習する英語の表現を何度も何度も繰り返し聞かせたり、使ったりすることで、自信を持って英語を言うことができるようにする。
- ③ 単純な英語を繰り返し練習するような活動ではなく、児童が「伝えたい。」「言いたい。」と思えるような発話する必然性のある文脈を吟味し、それに関わる活動を設定することで、コミュニケーションの楽しさや面白さを経験できる機会を多く設定する。

本単元の最後には、「家族のために、お祝いのケーキを作る」活動を設定し、自分の欲しいものを尋ねたり答えたりしながら、相手のことを考えてお祝いのケーキを完成させる。また単元のゴールに向けて、アルファベットの大文字の名称に慣れ親しんだり、野菜や果物を英語で表したり、欲しいものを答えたり尋ねたりする表現に慣れ親しんだりすることができる活動を設定する。単元のゴールに向けて、単元構成を逆向き設計し、児童に付けたい力を明確にした活動を行うことで、アンケートから分かった課題を解消したい。

## 5 単元で目指す児童像

育成する資質・能力	児童の目指すべき理想像
問題解決力	学習したことを元に、必要な情報を整理しながら、何をどのように伝えたらよいかを思考・判断し、表現することで、課題を解決している。
自己肯定感	意欲的に、身の回りのものを英語でどのように言うか知ろうとしたり、学習した表現を使い、一生懸命相手に伝えたりしようとしている。

## 6 単元構成について

<p>単元目標</p>	<p><b>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</b> 積極的にアルファベットの大文字を読んだり、相手に配慮しながら欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p><b>【外国語への慣れ親しみ】</b> アルファベットの文字とその読み方を一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p><b>【言語や文化に関する気付き】</b> 英語と日本語のものの言い方に共通点や相違点があることに気付く。</p>
<p>言語材料 (下線：新出)</p>	<p><b>【表現】</b> What do you want? I want (strawberries), please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you. Do you have (strawberries)? Yes, I do. / No, I don't.</p> <p><b>【語彙】</b> 身の回りのもの、果物、野菜、数の表現（1～30）</p>



<p>児童の 目指すべき姿</p> <p><b>【技能】</b> <b>資質・能力</b></p>	<p><b>【聞くこと】</b> <b>自己肯定感</b> <b>問題解決力</b> アルファベットの文字と名称を一致させたり、食材などの表現を聞き取ったりすることができる。</p> <p><b>【話すこと】</b> <b>自己肯定感</b> <b>問題解決力</b> 自分が欲しい食材などを、話すスピードに気をつけたり、ジェスチャーを交えたりしながら、相手に分かりやすく伝えることができる。</p> <p><b>【読むこと】</b> <b>自己肯定感</b> <b>問題解決力</b> 十分に慣れ親しんだアルファベットや食材などの単語を読むことができる。</p>
---	--



<p>単元のゴール</p>	<p>☆ 家族の誕生日などをお祝いするために、家族が好きなものを想像しながら、友達とのやり取りを通して、お祝いのケーキを考える。</p> <p><b>【やり取りの例】</b> A: Hello! What do you want? B: Hello. I want strawberries for my mother. A: OK. How many strawberries? B: Two, please. Do you have grapes? A: Here you are. Sorry, I don't have grapes. B: I see. Thank you.</p>
---------------	--

7 指導と単元の計画 (全5時間)

時	指導内容 (□は使用する表現例, ○活動例)	評価規準と方法
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">課題の設定</p>	<p>1</p> <p><b>めあて</b> アルファベットとなかよくなるよう。</p> <p>☆<b>Small Talk</b>: 単元のゴールの明示+アルファベットの紹介</p> <p><b>【聞】</b> アルファベットの文字や読み方に慣れ親しむ。</p> <p>○Let's Watch and Think <b>【Let's Try1 Unit6 から】</b></p> <p>○ABC song</p> <p>○『くらしの中のABC』<b>【NHK for School から】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A~Zの読み方</p> <p>I'm Iwata Kohshi, I, W, A, T, A, K, O, H, S, H, I.</p> </div>	<p><b>【慣】</b> アルファベットの文字や読み方に慣れ親しんでいる。(行動観察・振り返り)</p>
	<p>2</p> <p><b>めあて</b> 身の回りのものを英語で表そう。</p> <p>☆<b>Small Talk</b>: 野菜や果物など馴染み深いものを英語で表す。</p> <p><b>【聞】</b> 野菜や果物などの英語での言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○ABC song</p> <p>○ポインティングゲーム <b>【Wordbook の活用】</b></p> <p>○Let's Listen2 <b>【Let's Try Unit7 から】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>strawberry, banana, kiwi fruit, apple, lemon, orange</p> <p>mushroom, pepper, onion, tomato, carrot, cucumber など</p> </div>	<p><b>【言】</b> 英語と日本語のものの言い方に共通点や相違点があることに気付いている。(行動観察・振り返り)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">情報収集</p>	<p>3</p> <p><b>めあて</b> 何がほしいか尋ねよう。</p> <p>☆<b>Small Talk</b>: What do you want?を使ったやり取りの例示</p> <p><b>【聞】</b> 欲しいものを尋ねる表現に慣れ親しむ。</p> <p><b>【話】</b> 何がほしいか尋ねることができる。</p> <p>○Let's Watch and Think <b>【Let's Try2 Unit7 から】</b></p> <p>○Let's Chant <b>【Let's Try2 Unit7 から】</b></p> <p>○Activity1 <b>【Let's Try2 Unit7 から】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: What do you want? B: Strawberries, please. A: Here you are.</p> </div>	<p><b>【慣】</b> 欲しいものを尋ねる表現に慣れ親しんでいる。(行動観察・振り返り)</p>
	<p>4 (本時)</p> <p><b>めあて</b> 何が欲しいのか尋ねたり答えたりしよう。</p> <p>☆<b>Small Talk</b>: What do you want? – I want ~.を使ったやり取りの例示</p> <p><b>【聞】</b> What do you want? – I want ~.の表現に慣れ親しむ。</p> <p><b>【話】</b> 状況に応じて欲しいものを尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○What do you want? <b>【NHK for School】</b></p> <p>○Activity2 <b>【Let's Try2 Unit7 から】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: What do you want? B: I want bananas.</p> <p>B: What do you want? A: I want cherries.</p> </div>	<p><b>【コ】</b> 積極的に欲しいものを尋ねたり答えたりしている。(行動観察・振り返り)</p>

**めあて** 家族のお祝いケーキを考えよう。

☆**Small Talk**：担任やALTのお祝いケーキについてのやり取りの例示

**【聞】** 欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

**【話】** 目的に応じて、自分が欲しいものを尋ねたり答えたりすることができる。

○インタビュー活動

A: Hello! What do you want?  
 B: Hello. I want strawberries for my mother.  
 A: OK. How many strawberries?  
 B: Two, please. Do you have grapes?  
 A: Here you are. Sorry, I don't have grapes.  
 B: I see. Thank you.

**【こ】** 相手に配慮しながら欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。(行動観察・振り返り)

8 本時の展開

(1) 本時の目標

○状況に応じて、何が欲しいかを考え、友達に尋ねたり答えたりすることができる。

(2) 本時の評価規準

○積極的に欲しいものを尋ねたり答えたりしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(3) 本時で育成したい資質・能力

**問題解決力** **自己肯定感**

(4) 学習の流れ

過程	学習サイクル	児童の学習活動	指導者の活動		指導上の留意点 ○具体の評価規準 (評価方法)
			T1	T2 (ALT)	
導入 (Introduction)	ステップ1 (考えをもつ)	1 Greeting 挨拶をして学習の雰囲気作りをする。	Good afternoon! How are you?	Good afternoon!	既習事項を活用したテーマ設定にする。  キーフレーズを視覚化するため板書掲示をする。
		2 Chat テーマに合ったやり取りを行う。	What is today's talk theme? Let's talk with 3 people.	Today's talk theme is "What fruit do you like?" or "What vegetable do you like?"	
		3 Small Talk T1 と T2 のやり取りを聞き課題を類推する。	<p>T2: Sakamoto sensei's birthday will come soon. I will make a birthday cake. T1: Sounds nice! What kind of cake do you make? T2: I will make a fruit cake. T1: What do you want for Sakamoto sensei? T2: I want strawberries. And I want bananas. T1: I see. Good idea. T2: How about you? What do you want for Sakamoto sensei? T1: I want mushrooms and tomatoes. Sakamoto sensei likes vegetables.</p>		
		4 Today's goal 本時のめあてを確認する。	Check today's goal.		
何が欲しいのか尋ねたり答えたりしよう。					

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開 (development)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ステップ2 (伝える) ↓ ステップ3 (考えを深める)</p>	<p>5 Activity</p> <p>○Listening</p> <p>・『What do you want?』 動画を見て、既習の表現の活用方法を確認する。</p> <p>○Speaking</p> <p>・Activity2 特定の誰かにピザを作る活動を行う。</p>	<p>Let's watch the video.</p> <p>・ Let's make the original pizza for ○○先生</p>	<p>*help T1 to prepare the video.</p> <p>*Show the demo with T1.</p>	<p>活動に必要な絵カードを掲示し、文字や絵と音声を結びつけるようにする。</p> <p>○【コ】積極的に欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 (行動観察・振り返り)</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>指導者の指示例</b></p> <p>① Make 2 desks together.</p> <p>② Do じゃんけん.</p> <p>③ The one asks "What do you want?" and the other answers "I want ~."</p> <p>④ Take turns.</p> <p><b>児童のやり取り例</b></p> <p>A: What do you want? B: I want green peppers and beef.</p> <p>A: Here you are. B: Thank you.</p> <p>(Take turns)</p> <p>B: What do you want? A: I want egg and corn.</p> <p>B: Here you are. A: Thank you.</p> </div>				
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ (summary)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">振り返り</p>	<p>6 Reflection</p> <p>本時の学習について、活動面と言語面での振り返りをする。</p> <p>7 Greeting</p> <p>挨拶をして余韻を持って学習を終える。</p>	<p>Write 振り返り card.</p> <p>That's all for today.</p> <p>Thank you!</p> <p>See you!</p>	<p>Thank you!</p> <p>See you!</p>	